中漁業協同組合文書に見る漁獲について

はじめに

今回整理対象となった６史料群のうち、ある程度まとまった形で漁獲に関するデータが得られる史料は「中漁業協同組合文書」に収録される数点の帳簿類に限られる。そこでここでは当該文書の分析を行い、漁獲データについて整理し、概要を紹介したい。

中漁業協同組合文書の来歴等については別項をご覧いただきたいが、現在、白浜町管理の第１種漁港として中漁港は存在するものの、法人組織として同組合は現存せず、和歌山南漁業協同組合に統合されているようである。

ところで、「明治前期の和歌山県下各都の水産業」（『旧務時代の漁業制度調査資料』農林水産省経済局統計情報部図書資料室所蔵、『和歌山県史』近現代史料五に収録）は、明治三十四年の漁業法制定に当たっての全国的な調査資料で、藩政期の漁業制度から次第に近代的な漁業制度に移行する過程における、和歌山県の全般的な漁業の概況をみることができる史料のひとつとされている。そして、そこには南冨田村中地域に関する記載もあり、当時の同地域の漁村としての実態が詳しく述べられている。ここではその全てを掲載できないので、その中から魚名が出てくる項目について部分的に引用しておく（本文中の太字は筆者による）。

まず、「漁者ト魚問屋又ハ魚商トノ関係」には「南富田村大字中漁魚ハ其場ニ於テ入札払トス、其ノ買受人幾許アルモ皆問屋ノ手ヲ経テ公売シ其代価ハ問屋ヨリ取立テ網主ニ払渡スナリ、其問屋ハ買受人ヨリ口銭ヲ取リ、又売渡ストキハ入レ魚ト称ヘ鮝目白鰤其他員数ヲ以テ売ルモノハ百本ニ付二本入レトスル慣例アリ、（後略）」とあり、ブリ・メジロ・ハマチを例に取引方法が説明されている。

また、「魚類製造及販売法」では「南富田村大字中ハ鰹又ハ鯖生節、塩鰯煮ヲ製造シ大阪京都其他ニ輸出ス、鰮ノ漁獲多キトキハ肥料ニ製造セシモ近来いりなご（煮乾）ト為スニ依リ大ニ利益アリ」とあり、カツオ・サバ・イワシの加工製造とその販売利用について述べられている。

凡例

それでは以下で魚種ごとに漁獲の概要を示したいが、その前にいくつかの注意事項をあげておきたい。

まず、本稿で分析対象とした史料は、「仕切書綴」（目録番号６）のうち 62 点、および「大正貳年第拾貳月　惣髙勘定帳」（目録番号 7-1）、「大正十二年九月　濵帳　第壹号」「大正十一年第十一月起　濱帳」「濱帳」（目録番号 9-1～3）、「大正十年　自三月弐拾弐日　至四月拾六日　諸魚小賣懸取帳　第四号」（目録番号 10）の計 67 点である。

次に、今回の分析に当たっては、古文書の性格上、判読不能や意味不明な部分などがあることから、全てのデータを分析できたわけではない。また、対象史料67点の中でも、一部例外はあるが、日付ないし、漁獲数量や金額の記載を欠くケース、あるいは複数の魚種の合計で金額が算出されたケース（例えば、カツオとイカ合わせて250目が60銭などの場合）は除外した。その結果、データ数は3511件となった。なお、以下に示したデータ数（件数）とは、史料に記載されている情報数のことであり、目録番号を付記した史料の点数とは異なるものである。この他、「仕切書綴」のうち、漁獲日時が明確でないものは文書作成日を充てたものがあるほか、改元の行われた大正15／昭和元年の元号は、基本的に史料表記を尊重している。

さらに本稿では、漁獲量や漁獲高の概要をつかむことに主眼を置いたため、帳簿分析で重要かつ基本的な構造分析については行っていない。その代わりに１件ごとに単価算出を試みたが、数量表記は個体数だけでなく、重量数など一律ではなかったため、統一感のないものとなった。このため「目」や「貫」などの重量表記のケースでは、100目（約375グラム）あたりの金額を算出し、ひとつの目安とした。なお、数量単位には「杯」「籠」などの容器を用いた場合もある。それらがどのくらいの量なのかについては、重量が併記される場合もあり、参考になるものの、その数値はケースバイケースで必ずしも一貫性はない。

加えて、上記の通り、今回は多くの除外データがあるため、実数としては、以下で示す数値より、漁獲量は増加し、また、漁獲高では上下動を見ると思われる魚種も少なくない。従って、ここで提示した数値は、あくまでもひとつの目安であることをご了解いただきたい。

この他、魚名については可能な限り地方名などに留意したが、複数の可能性から類別ができなかったものや、誤った魚名を提示した可能性もある。また、広く浅く概要を示すことを心掛けたものの、紙数の都合上、ごく一部の魚種しか取り上げることができなかった。ただ、上記「明治前期の和歌山県下各都の水産業」に出てきた魚とその近縁種に関しては、データ件数の多寡に関わらず、なるべく取り上げるようにした。配列は原則として和名順としたが、出世魚や近縁種をまとめた場合などもある。但し、それらは必ずしも生物学上における魚類の分類群を反映したものとは限らない。

アジとその仲間

アジ

「アジ」「あじ」「鯵」と記されるが、「アジ」はアジ科の魚の総称である一方で、狭義には「マアジ」を指す場合もある。また、史料には「マアジ」という記載が見られないことから、これらのケースが「マアジ」を指す可能性が高いものの、確証は得られていない。

「アジ」に関しては、大正５年から昭和２年にかけて60件（目録番号６-１、６-８、６-24、６-35、７-１、９-１、９-２、９-３）のデータがある。数量単位は、個体数（尾）、重量（目）、容器（杯・籠）と多様であるほか、「大」「小」の類別が行われたケースも見られる。そして、個体数単価では、１尾約２円～15

銭と幅があるが、15 銭は「大あじ」のケースなので、１尾約２～５銭程度で推移していると見てよい。また、重量単位では、100 目あたり６銭～約 23 銭と幅があるものの、高額のケースは、やはり「大あじ」のケースが多い。さらに容器単位の場合には、１杯あたりでは５円 50 銭～約９円と幅があるほか、１籠あたりのでは７円 26 銭という金額が見られる。大小の形態別については、大型が大正 12 年 10 月における数日の記録によると１尾 15 銭、同年 11 月中には 100 目あたり 12 銭～17 銭程度となる。また、小型のものは、大正 15 年 10 月 14 日に５籠で 36 円 30 銭、すなわち１籠７円 26 銭で取引されている。

ところで、「あじこ」「あじ子」と記帳されたケースが４件（目録番号６-53、６-59）ほど見られる。これは５センチメートル以下の「マアジ」の呼び名とされる。これに関しては、昭和２年４月 22～27 日にかけて１杯約４～５円程度で扱われた記録が見られる。

シマアジ

成魚については「しまあじ」「島あじ」と記される。また、和歌山ではシマアジの小さいものを「コセ」ということから、これも「シマアジ」として、ここで扱う。データ件数は、大正 12 年～昭和２年における 15 件（目録番号９-１、９-２、９-３）で、成魚である「シマアジ」（３件）よりも小物の「コセ」（12 件）に関するものの方が多い。

成魚の「シマアジ」は、大正 12 年 10 月 27 日に 230 匁で 60 銭とあり、100 目あたり約 26 銭であったが、昭和２年３月６日には２貫 100（目ヵ）で 11 円 19 銭とあり、100 目あたり約 53 銭となることから、２倍近くの金額となっている。なお、活魚は大正 12 年 10 月 28 日に「生ケ島あじ」785 本が 166 円 16 銭とあり、１本約 21 銭で取引されている。

一方、小物の「コセ」に関しては、大正 14 年 12 月 17 日～同 15 年 11 月 15 日の記録がある。数量的には 50 目～300 目と少量で、金額も安価である。100 目あたりの金額は 25 銭のケースが多数だが、中には約 15 銭や約 23 銭といった場合も見られる。

ムロアジ

「むろ」「ムロ」と記され、大正 12 年から昭和２年にかけて 29 件（目録番号９-１、９-３、６-52）が確認できる。但し、そのほとんどを占めるのは大正 12 年分の 21 件で、あとの７件が昭和２年、残る１件が大正 15 年となる。そして、100 目あたりの金額は、大正 12 年が 18～30 銭、大正 15 年は 24 銭、昭和２年には約 15 銭と金額にはバラつきが目立つ。この他、昭和２年４月 11 日に５本で１円 50 銭（１本あたり 30 銭）、翌 12 日には 130 本で 38 円 22 銭（１本あたり約 29 銭）とある。

ギンガメアジ

「ギンガメアジ」は「銀紙鰺」「銀亀鰺」「銀河目鰺」と漢字では表記され、また、和歌山では体色から「メッキ」と呼称する地域もある。史料には「亀鰺」と記されているが、これを「ギンガメアジ」と解した。データ件数は、4件（目録番号7-1）で、全て大正5年9月15日付である。1尾3銭（合計11尾33銭）と約5銭（4尾１９銭）のケースがある。

イカとその仲間

イカ

「イカ」「いか」のほか、「大いか」「小いか」といった表記が見られる。これらの表記については「マイカ」の可能性などが考えられるが、史料には、多種のイカに関する記載が見られることもあり、これもアジなどと同様、特定することは控える。「イカ」に関しては、大正10年から昭和2年にかけて145件（目録番号6-33、6-40、9-1、9-2、9-3、10）のデータがある。これらのほとんどが重量単位で算出されているが、個体数や容器単位のものが4例ずつ見られる。個体数の価格は「1つ」3銭～10銭と差があるが、ここには「小いか」1つ7銭も含まれる。また、1杯当たりでも7銭～20銭とやや幅があるが、7銭のケースは「小いか」のもので、概ね20銭程度と見ることができる。一方、多数を占める重量単位のケースでは、100目あたり5銭～約38銭と幅が大きい。ただ、大正10年は20銭、大正12年は15銭、大正13～14年は25銭、大正15年（昭和元年）は15銭～20銭、昭和2年は20銭程度で推移しているという傾向はつかめる。

なお、イカに関しては、「たちいか」「立いか」「立イカ」と記される「アオリイカ」や「マイカ」「コウイカ」「モンゴウイカ」などが見える。このうち件数の多い「モンゴウイカ」のみ、以下で取り上げる。

モンゴウイカ

「もんごいか」「もんご」「文子」「モンイカ」「モン」「もん」など多様な名称で記されている。件数は、大正12年から昭和2年に64件（目録番号6-42、9-1、9-2、9-3）で、全て重量単位で取引されている。金額としては、100目あたり20～30銭程度で推移しているが、昭和2年1月は、やや値が落ちている。また、「大」「小」と形態で類別されているケースが数例見られる。ただ、大正15年2月6日には「大モン」220（目ヵ）で44銭（100目あたり20銭）に対し、「小モン」350（目ヵ）で53銭（100目あたり約15銭）とあるように、それほど価格差は大きくない。さらに「活ケ」「生ケ」が付記されたケースもあ

るが、こちらも価格差に大きな変化は見られない

イワシとその仲間

イワシ

イワシに関しては「鰮」「いわし」「イワシ」の表記が見られる。これらは「マイワシ」を指すとも推測できるが、「アジ」や「イカ」と同様に魚種を特定できるものではない。「イワシ」については、大正５年から昭和２年に 23 件（目録番号６-３、６-21、６-27、７、９-１、９-２、９-３、10）ある。これらの特徴としては、容器単位（籠・杯）で金額が算出されるケースが多い点にある。このうち、「籠」単位については、合計で８例あるが、それらは大正５年と昭和 12 年の事例に集約できる。そして、前者では、１籠あたり１円 50 銭～２円であるのに対し、後者では約４円と 12 円（半籠６円）とあり、金額に大きな差が出ている。一方、「杯」単位については、大正 12 年から昭和２年に集中し、１杯約４～５円程度で推移している。残る重量単位のケースでは、100 目あたり約７～８銭程度で推移している。

ヒラゴ

「マイワシ」と類別できるケースも僅かながら見られる。そのひとつは「ヒラゴ（イワシ）」で、これは「マイワシ」の若魚の地方名に見られるものである。データ数は８件（目録番号６-31、9-２）だが、実際には大正 14 年 12 月 14 日の４件、同 15 日の３件、昭和２年 12 月１日の１件の３日分に集約される。それらは、ほぼ全てが容器単位の「杯」で取引されており、１杯あたりの金額は、４～８円 60 銭と幅がある。特に大正 14 年 12 月 15 日には、５円 25 銭と８円 60 銭のケースがあり、同日間で大きな価格差が見られる。また、同日には２貫目で１円 60 銭とする場合もあり、これによれば 100 目あたりの金額は８銭となる。

小平（コベラ）

昭和２年に「小平（鰮）」という記載が９件（目録番号６-56、６-58、６-59、６-62）ある。これは「コベラ（イワシ）」で「マイワシ」の地方名と思われる。全て「杯」で計上され、１件あたり 20 杯～50 杯程度と見える。１杯あたりの変遷は、４月 16 日は約８円であったものが、５月９日には約３円 30 銭、同 13・14 日には１円 50 銭、同 16 日は１円 60 銭という金額が算出でき、短期間に比較的大きな価格の上下動が認められる。

ウルメイワシ

「ウルメ鰮」と記される。記帳数は少なく３件で２日分に留まる。内訳は、大正 14 年 12 月 15 日に５杯が 28 円 60 銭（目録番号９-２）、大正 15 年６月 10 日に合計 35 杯 133 円（目録番号９-３）と見えるのみである。

シラス

シラスはカタクチイワシ・マイワシ・ウルメイワシなどのイワシ類や、他の多くの種類の稚魚で，体が無色透明なものの総称であることから、ここで述べる。史料には、「シラス」「しらす」「白す」「白ス」のほか、「白魚」とも記される。データ件数は、大正 12 年から昭和２年に 114 件（目録番号６-３、６-７、６-９、６-16、６-20、６-23、６-24、６-25、６-27、６-28、６-38、６-41、６-47、９-１、９-２、９-３）と多数で、他の魚よりも仕切書が多く残されていることが特徴である。なお、他種の可能性もある「白魚」を含めた理由は、例えば、『浜帳』（目録番号９-３）大正 15 年 12 月 24 日分にある「シラス」に関する「石橋平助」分の記載と、「石橋」作成の「網組會計長濱口伊平次」宛ての魚代金に関する仕切書（目録番号６-24）における「白魚」の内容がともに８桶 37 円 10 銭で一致することなどから判断した。

「シラス」に関しては、容器単位で金額が算出されているケースが大半を占める。そして、それらの半数以上は「桶」であるが、他に「荷」が４例、「籠」が１例含まれる。「桶」のケースでは１桶あたり１円強～９円近くに及ぶ場合があり、かなりの幅がある。その振れ幅はランダムで年次や季節による傾向は見受けられない。また「荷」の４例で注目できるのは、大正 12 年 11 月 24 日に１荷 10 円だったものが、同 12 月７日には 17 円 80 銭と数日間で上昇している点と、１例が「下シラス」１荷４円 10 銭とあり、他の３例よりはるかに安いことがあげられる。さらに「籠」については、昭和２年３月 25 日に「３かご」27 円 80 銭とあり、１籠あたり約９円 27 銭と算出できる。

一方、100 目あたりの金額は、大正 12 年の一時期に 20 銭～26 銭となっているものの、それ以外の期間は 10～15 銭程度で安定して推移している。

カツオ

「鰹」「かつを」「カツオ」のほか、「かつ」の表記が見られる。記帳件数は、大正 12 年から昭和２年の間に 62 件（目録番号９-１、９-２、９-３）と多い。１本あたりの金額は５～25 銭と幅があり、大正 12～13・15 年に 20 銭を超える山があるものの、それ以外の時期は比較的安定している。また、100 目あたりの金額は 10～15 銭で推移しており、取引件数は多いものの漁獲高は安定した魚種であるといえる。

カマス・「笛吹」

カマスはカマス科の魚の総称で、日本では、ヤマトカマス・アカカマス・アオカマスの３種を指すという。今回は「カマス」「かます」と記帳されたもののほか、魚偏に「市」と記載されたものもカマスとした。これに関しては、異なる場所の事例だが、藤木喜久馬が島根県庁所蔵の「漁業場区画帳」に含まれる書類に、この文字にカマスと振り仮名がしてあることを紹介していることが参考になったが、それ以上に重視したのは、『浜帳』（目録番号９-３）にある「カマス」に関する「中栄」分の記載と「中栄」作成、網組共同社宛ての仕切書（目録番号６-33）に見える魚偏に「市」についての内容が、ともに 17 杯で 236 円と合致していることによる。この他、史料上には、カマスを指す場合もある「笛吹」も見られるが、こちらはフエフキダイの可能性もあるため、除外した。その結果、データ数は大正 10 年から昭和２年に 28 件（目録番号６-24、６-33、９-１、９-３、10）となった。これらのほとんどが重量単位での取引で、100 目あたりの金額は 10～25 銭となっているが、昭和２年１月１日と２月 25 日分に低額の取引が集中している。この他、上記のような杯単位の例がもう１例あり、そちらは１杯 11 円 50 銭となっている。さらに単位不明である「３」で 25 銭というケースがあるが数値的に見て、３尾を意味すると推測され、それに従えば１尾は約８銭と換算できる。

「笛吹」

「笛吹」「笛フキ」が、大正 10、13、15 年に 25 件（目録番号９-１、９-２、９-３）ある。先述のように、これらはカマスのほか、フエフキダイの可能性もあるものの、ここで扱う。その内訳は、１尾あたり 12 ないし 16 銭、及び 100 目あたりの金額は 10～20 銭で安定し、カマスのデータとしても大きな違和感はない。なお、フエフキダイは、フエフキダイ科に属する海水魚で、和歌山では「タマミ」「タマメ」と呼ぶこともある。

カンパチ（シオ）

史料上、「カンパチ」という名称が出てくるわけではなく、「シオ」「シヲ」「しお」という関西におけるカンパチの幼魚（60 センチメートル以下）の呼称が見られるのみである。ただデータ件数は大正 12 年から昭和２年に 86 件（目録番号６-58、９-１、９-２、９-３）と多い。このうちの多数は重量単位による取引の記録であるが、１本（尾）あたりの金額が分かるケースもある。それによると、大正 12 年に１本 10～20 銭というケースが見られるが、その後は 40～60 銭となり、総じて 60 銭前後の値が付く場合が多い。また、100 目あたりの金額も大正 12 年は 20 銭前後となっているが、その後は上昇し、25～45 銭となっている。特に大正 14 年の年末から大正 15 年３月頃は 40～45 銭の高値を付けている。

なお、１件のみ「大シヲ」という記載が見られるが、これと成魚であるカンパチとの位置づけは不明である。

サバ

上記「明治前期の和歌山県下各都の水産業」によると、南富田村大字中では鯖生節の生産が盛んだったようだが、サバに関しては、大正 15 年５月 11 日の「鯖子」１杯１円 10 銭（目録番号９-３）を見るのみである。ただ、検討対象からはずれたケースには、イワシや雑子などとともに計上されたものが多くあり、その漁獲高は大きい特徴がある。

サワラ（サゴシ）

「サワラ」「サハラ」「さわら」「鰆」と多様な記載が見られるものの、データ件数は、大正 15 年（昭和１年）のみの７件（目録番号６-17、９-２）となっている。ほとんどが本数単位による記録であり、短期間ながら漁獲高の変化は追いやすい。具体的な単価は、１本１円 50 銭～４円と幅があるが、12 月と２月の冬季は、やや高値となり、春先の３月は安価となる傾向が見られる。

一方、サワラは成長に応じて呼名が変わる出世魚のひとつで、関西では 50 センチメートル位までの若魚を「サゴシ」と呼ばれる。そして、「サゴシ」「さごし」などと記されたものが、大正 10 年から昭和２年に 17 件（目録番号６-17、６-29、９-１、９-２、９-３、10）見られる。なお、ここには必ずしも地方名の確認は取れていないが「ゴシ」「コシ」「こし」のケースも含まれる。「サゴシ」に関しては、成魚のサワラ同様、本数単位による記録が多く、１本 80 銭～１円程度で成魚よりは安価である。また、重量単位による取引の場合には、100 目あたり 40 銭でほぼ一定している。

スマ

カツオに似た魚で「スマガツオ」や「ヤイト」をはじめとして、さまざまな地方名を持つ。関西では「ヤイトガツオ」とも呼ばれ、この「ヤイト」には「灸」の字が当てられることがある。帳簿上でも「スマ」「すま」のほか、「スマかつを」「スマかつ」「灸鰹」「灸かつ」「灸」と表記は多様で、記帳件数は大正 12～15 年と昭和２年に 41 件（目録番号９-１、９-２、９-３）ある。なお、これらの表記の中には「スマ」と「カツオ」に類別すべきと思われる記載もあるが、大正 12 年 11 月 22 日に「灸かつ」１本（200 目）30 銭や、大正 14 年 12 月 15 日に「灸鰹」１本（約 400 目）70 銭とあることから、改行や複数文字分の余白など、明らかな区別が見られる記法のあるもの以外は「スマ」として扱った。「スマ」に関しては、１本あたりの単価が分かるケースが多く、それによると１本 12～70

銭と金額には幅がある。これは大正 13 年 1 月分に下落が見られる一方、同 14 年 12 月以降にやや高値となっていることが一因である。また重量単位における取引の場合では、100 目あたり約 25 銭のケースがあるものの、概ね 15 銭前後で推移している。

タイとその仲間

タイ

「タイ」「たい」「鯛」などと記される。「タイ」もタイ科の魚の総称で、狭義には「マダイ」を指す場合があることから、これも特定することは控える。ただ、今回扱った史料上に「マダイ」という記載は出てこなかった点は注記しておきたい。データ的には、大正 12～13、15 年から昭和 2 年に 76 件（目録番号 6 -16、6 -17、6 -33、6 -42、6 -52、6 -55、6 -58、6 -59、9 - 1 、9 - 2 、9 - 3）と多数である。また、「タイ」の特徴は、しばしば「大」「小」と類別され、それが金額に反映されていること、さらに「活（ケ)」などと鮮魚が扱われている点にある。1 枚あたりの金額は、90 銭と 3 円及び 3 円 50 銭の 3 例が見られるが、後者 2 件は大小の価格差として説明できる。一方、100 目あたりの金額は、約 40 銭～ 1 円 30 銭程度とかなり幅がある。この差額には形態による差額が一因にあるものの、年次や季節に関係なくランダムである。また活魚との価格差はあまりない。

なお、以下にタイ科に属する魚の 1 例としてクロダイを取り上げる。

クロダイ

関西では「クロダイ」のことを「チヌ」と呼ぶことは比較的有名だが、帳簿上も全て「チヌ」ないし「ちぬ」とされ、「クロダイ」と記帳されることはない。また、主に関東や和歌山ではクロダイの幼魚（体長 20 センチメートルぐらいまで）を「カイズ（ヅ)」と呼ぶことも知られている。「チヌ」に関しては、大正 10 年から昭和 2 年までに 8 件（目録番号 9 - 1 、9 - 2 、10）のデータがあり、金額としては、大正 10 年 3 月 30 日の 600 目で 1 円 20 銭などに見られる 100 目あたり 20 銭程度で推移している。この他、「小チヌ」が 1 尾 5 銭というケースも見られる。

なお、史料上には「クロダイ」の地方名のひとつでもある「マキ（まき)」の記載もあるが、同魚は「クロサギ」の可能性もあるため、除外した。

タチウオ

「太刀魚」「大刀魚」のほか「刀魚」「刀」「たち」「タチ」などと記される。大正 10 年から昭和 2 年にかけて 109 件（目録番号 6 -59、6 -62、9 - 1 、9 - 2 、

９-３、10）と多い。データ的には、重量単位のケースが多数を占めるが、個体数単位のケースも多少見られ、さらに大正 12 年 11 月 21 日に 45 杯（500 貫）で 459 円、昭和２年５月 16 日には 10 杯 58 円という容器単位の事例も２例ほど見られる。これに対して、個体数の場合には１件につき１～５本程度と数量は少なく、１本あたりの金額は７～15 銭程度である。また、重量単位のケースでは、100 目あたり８銭～20 銭であるが、大正 12 年がやや安値となっている。

ニタリ

「ニタリ」「にたり」などとあり、データ件数は、大正 13 年～昭和２年に 49 件（目録番号６-33、９-１、９-２、９-３）ある。この「ニタリ」はオナガザメ科に属するサメの名称にある一方、他にも、近隣の田辺では、「サンマ」似ているという理由で「オキイワシ」（サイトオ）を「ニタリ」と言うことが知られており、直ちに魚種を判断し難いところがある。「ニタリ」については、全件が重量単位での取引だが、１件のみ、単価が併記されており、約 50～60 目の「１つ」が 10 銭とある。また、100 目あたりの価格は、20 銭程度だったものが、大正 15（昭和１）年 11 月～昭和２年１月末頃に 10～15 銭程度に下落し、その後 25 銭程度になる日があるものの、再び 15 銭前後になるといった波がある。

ブリ・メジロ・ハマチ・イナダ

ブリは成長とともに名称が変わる出世魚のひとつで，各地にさまざまな呼び名がある。そして、関西では、小さい順にツバス→ハマチ→メジロ→ブリと変化するとされる。これは上記「明治前期の和歌山県下各都の水産業」の南富田村大字中に関する記述の中に「鮝目白鰤」とあることからも看取できるが、こうした例示が行われているということは、これらの魚が同所における主要な漁獲物であったことを物語っていよう。
なお、ブリに関しては、参考までに幼魚も含めた一覧を別表で添付する。

ブリ

成魚（80 センチメートル以上とも）である「ブリ」に関しては、昭和２年５月１日に 11 本で 13 円 20 銭（目録番号６-59）とあるのが唯一の事例で、１本あたり１円 20 銭となる。

メジロ

メジロは、概ね 60 センチメートル未満の大きさのものを言うようである。史料上は「目白」と記され、データ件数は大正 10、15 年と昭和２年に 201 件（目録番号６-52、６-55、９-２、９-３、10）と非常に多いが、日数的には 15 日分程度に集約できる。ここには小型のものや活魚のケースも含まれるが、全て個体数（本）で取引されており、漁獲高の変化は追いやすい。１本あたりの単価は、大正 10 年は２円 40 銭、また、昭和２年は約１円 45～50 銭で一定しているが、大正 15 年は件数（日数）が多いこともあり、１円 20 銭～約１円 86 銭（「小」を除く）と幅があり、「小」「極小」は普通のものより５銭程度安価になっている。また「生」「活（ケ）」とある活魚の場合には、１件あたりの数量が非常に多い反目、単価は同日の相場より、やや安価になる傾向が見られる。

ハマチ

ハマチは、概ね 40 センチメートル未満の大きさのものを言うようである。史料上は「鮄」と記され、しばしば「活（ケ）」と付記された活魚のケースも見られる。データ件数は、大正５、同 12～昭和２年に 103 件（目録番号６-４、６-25、６-52、７、９-１、９-２、９-３）と多い。なお、この中には「町」「まち」の記載例も含まれる。これに関しては、地方名としての確証は得られていないが、同日の単価がハマチと合致するケースが多いため、「ハマチ」と解した。ほぼ全てが個体数（本・尾）で取引されているが、重量単位での取引と思われる事例が１件のみ見られ、「350（目ヵ）」で 15 銭（100 目あたり約４銭）とある。一方、１本（尾）あたりの価格は、大正５年のみ非常に安価で 10～20 銭程度であるのに対して、大正 12 年以降は 80 銭～１円 70 銭となっている。この間のうち、大正 14 年は高値となっている。活魚との価格差は若干あるが、メジロのように常に安価というわけではない。

イナダ

「鰍（子）」と記され、記帳件数は、大正 12～13、15 年に６件（目録番号９-１、９-３）と少数である。そもそも「イナダ」は、関東で使われる名称で、サイズ的には「ハマチ」に相当することから、当所における両者の区別については不明である。漁獲高は１本 25 銭のケースがあるほか、100 目あたりの価格は、１例のみ約 19 銭があるものの、その他は 30～35 銭となっている。また「子」が付記された場合でも価格差は出ていない。

ヤガラ

ヤガラはヤガラ科の魚の総称とされ、日本の沿岸にはアカヤガラとアオヤガラの２種類がいるといわれている。ヤガラに関しては「ヤカラ」「やから」などと

記帳されており、データ数は、大正 10 年から昭和２年までに 28 件（目録番号９-１、９-２、９-３、10）が確認できる。記帳内容からすると、その種別は必ずしも明確ではないが、大正 10 年３月 31 日に２尾 15 銭とあり、１尾あたり約８銭であったことが分かる。また、その他のケースを見ると、大正 13 年１月 30 日に 240 目で 60 銭、すなわち 100 目あたり 25 銭が最高値として見出せるが、概ね、100 目あたり 10 銭程度で推移している。なお、「大」「小」の付記されたケースが１例づつあり、100 目あたり「大」が 30 銭（大正 15 年１月 17 日、200 目で 60 銭）、「小」は約７銭（大正 15 年３月６日、300 目で 20 銭）という金額が算出できる。

ヨコスジフエダイ

帳簿上では別名である「タルミ」「たるみ」などと記され、「ヨコスジフエダイ」（スズキ目フエダイ科に属する海水魚）と記帳された例はない。また、和歌山では、この呼び名のほか「スミヤキ」と呼ぶ地域があることなどが知られている。ヨコスジフエダイに関しては、大正 12 と 15 年に 11 件（目録番号９-１、９-３）あり、大正 12 年 11 月６日、及び同 15 年６月 10 日、10 月 13 日、11 月３日の４日分に集約できる。そのうち、大正 15 年 11 月３日には 100 目で 20 銭と見えるほか、個体数の価格も分かる大正 15 年 10 月 13 日の１つ（50 目）で 10 銭などが、漁獲高についての基準となりそうな数値である。

その他

最後に上記で紹介しきれなかった魚に関して、魚名だけを提示しておきたい。なお、中には、史料表記（地方名）を尊重し、その後にかっこ書きで和名を付したものもある。

あめ・飴（アメジャコヵ）　イサキ　イトヨリ　海ふな（テンジクダイヵ）　ウシノシタ　馬面（ウマヅラハギ）　沖ハゲ（ウスバハギヵ）
ゑ・エ・エブ（アカエイ）　エソ　カレ（ヒラメまたはマコガレイ）　義ゑ（イトマキエイ）　キス　キビナゴ　ギラ（サッパまたはオキヒイラギ）
くた（不明）　ぐれい（メジナ）　コチ　コロダイ　サカタザメ　白たい（ヘダイヵ）　スズキ　太鼓張（不明）　ダツ　とつ（不明）
とももり（コショウダイヵ）　ニベ　ハゲ（カワハギ）　ハス（ヒラメ）　ハモ　ヒメジ　フカ　ヘダイ　ホウボウ　ボラ　マキ（クロダイまたはクロサギ）
目赤（メナダ）

おわりに

本稿では、多くの課題が残されてしまったので、それらを提示することで結びにかえたい。

まず、今回は帳簿の構造分析には及んでいないことから、帳簿本来の役割・機能に対して、十分な注意が払われているとは言い難く、結果として、取引・流通など経済的活動の観点からすると大きな問題を残す。また、数例で紹介した通り、仕切書と帳簿類には同内容に関する記載が認められる。このような史料間相互の関係性も十分に精査できていない。加えて、漁法や漁村の実態などバックグラウンドに対する配慮も欠いている。いずれも今後の課題であろう

次に、魚種・魚名の知識が乏しく、類別にあたって大きな誤りを犯している可能性がある。また、一冊の帳簿が複数人の手により記帳されていることは、筆跡などから見ても明白であるが、そのことは記主各人の知識に基づいて魚名が記帳され、その結果、同種の魚でありながら異なった名称で表記されている可能性をはらんでいる。そして、そこには魚の地方名の問題などが絡んでおり、この理解なしには、正確なデータは得られない。この点も大きな課題である。

紙数の都合上、ごく限られた魚種や一部のデータ表しか提示できなかったことも問題であろう。これに関しては、いずれ別の機会があれば、提示できればと思う。

このように甚だ不完全なものとなってしまったが、以上で、ひとつの報告として擱筆としたい。

（織田洋行）

付表　1／5

和暦	西暦	月	日	魚名	数量	金額	単価（本・尾）	単価（目）	目録番号	分類
大正05	1916	09	13	鮈	１本	18銭	18銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	13	鮈	２本	36銭	18銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	13	鮈	１本	18銭	18銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	13	鮈	１本	18銭	18銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	13	鮈	１本	18銭	18銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	13	鮈	50尾	8円75銭	約18銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	13	生ケ鮈	640尾	89円60銭	14銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	２本	26銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	２本	26銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	133本3分	11円33銭	約12銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	２本	26銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	２本	26銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	２本	26銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	３本	39銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	鮈	２本	36銭	18銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	15	生ケ鮈	2060本	393円46銭	約19銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	16	鮈	２本	26銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	16	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	16	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	16	鮈	60本	6円	10銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	16	生ケ鮈	15本	2円85銭	19銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	３本	39銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	３本	39銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	60本	6円96銭	約12銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	２本	26銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	２本	26銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	３本	39銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	鮈	60本	5円40銭	９銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	鮈	２本	26銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	鮈	１本	13銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	生ケ鮈	１本	18銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	生ケ鮈	２本	26銭	13銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	生ケ鮈	１本	18銭	18銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	18	生ケ鮈	２本	36銭	18銭		7	ハマチ（ブリ）
大正05	1916	09	17	生ケ鮈	3542本7分	655円39銭9厘	約18銭		7	ハマチ（ブリ）
大正10	1921	03	30	目白	１本	２円40銭	２円40銭		10	メジロ（ブリ）
大正10	1921	03	30	目白	２本	４円80銭	２円40銭		10	メジロ（ブリ）
大正10	1921	03	30	目白	１本	2円40銭	２円40銭		10	メジロ（ブリ）
大正10	1921	03	30	目白	１本	2円40銭	２円40銭		10	メジロ（ブリ）
大正10	1921	03	30	目白	１本	２円40銭	２円40銭		10	メジロ（ブリ）
大正12	1923	10	22	鰍	１本	25銭	25銭		9-1	イナダ（ブリ）
大正12	1923	10	28	鰍	160目	30銭		約19銭	9-1	イナダ（ブリ）
大正12	1923	11	22	生鮈	595本	527円70銭	約89銭		9-1	ハマチ（ブリ）
大正12	1923	12	12	町	350	15銭		約４銭	9-1	ハマチ（ブリ）
大正12	1923	12	19	鮈	１本	90銭	90銭		9-1	ハマチ（ブリ）
大正12	1923	12	19	鰍	500目	1円50銭		30銭	9-1	イナダ（ブリ）
大正12	1923	12	19	鰍	200目	60銭		30銭	9-1	イナダ（ブリ）

和暦	西暦	月	日	魚名	数量	金額	単価（本・尾）	単価（目）	目録番号	分類
大正13	1924	01	02	鰍子	200目	70銭		35銭	9-1	イナダ（ブリ）
大正13	1924	01	18	町	３本	３円	１円		9-1	ハマチ（ブリ）
大正13	1924	01	18	町	２本	2円	１円		9-1	ハマチ（ブリ）
大正13	1924	01	18	町	２本	2円	１円		9-1	ハマチ（ブリ）
大正13	1924	01	27	町	７本	5円60銭	80銭		9-1	ハマチ（ブリ）
大正13	1924	01	27	町	２本	2円	１円		9-1	ハマチ（ブリ）
大正13	1924	01	27	生ケ町	188本	164円49銭	約87銭		9-1	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	鮝	３本	3円75銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	まち	１本	1円25銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	まち	２本	2円50銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	町	２本	2円50銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	鮝	１本	1円25銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	鮝	１本	1円25銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	鮝	３本	3円75銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	鮝	１本	1円25銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	鮝	４本	5円	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	町	１本	1円25銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	町	９本	11円25銭	約1円30銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	町	３本	3円75銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正14	1925	12	25	町	１本	1円25銭	１円25銭		9-2	ハマチ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	２本	3円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	３本	4円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	４本	6円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	２本	3円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	４本	6円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	３本	4円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	２本	3円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	７本	10円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	３本	4円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	２本	3円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	２本	3円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	２本	3円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	４本	6円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	２本	3円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	３本	4円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	２本	3円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	２本	3円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	08	活目白	1886本	2550円62銭	約１円35銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	２本	3円40銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	５本	8円50銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）

和暦	西暦	月	日	魚名	数量	金額	単価（本・尾）	単価（目）	目録番号	分類
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	４本	6円40銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	生目白	785本	1098円64銭	約１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	２本	3円40銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	13	目白	１本	1円70銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	目白	１本	1円60銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	目白	２本	3円20銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	目白	２本	3円40銭	１円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	目白	２本	3円20銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	目白	５本	8円	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	目白	２本	3円10銭	約１円56銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	目白	６本	9円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	18	活目白	926本	1315円87銭	約１円42銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	２本	3円	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	２本	3円20銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	２本	3円20銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円60銭	１円60銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	19	目白	１本	1円50銭	１円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	３本	4円20銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	４本	5円60銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	３本	4円20銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	４本	5円60銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	３本	4円20銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	２本	2円80銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	１本	1円40銭	１円40銭		9-2	メジロ（ブリ）

和暦	西暦	月	日	魚名	数量	金額	単価（本・尾）	単価（目）	目録番号	分類
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	3本	4円20銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	3本	4円20銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	6本	8円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1609本	1892円40銭	約1円18銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	615本	723円24銭	約1円18銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	5本	7円	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	5本	7円	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	2本	2円80銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	極小目白	1本	1円35銭	1円35銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	1本	1円40銭	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	02	26	目白	5本	7円	1円40銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	04	目白	2本	3円	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	04	目白	3本	4円50銭	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	04	目白	3本	4円50銭	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	04	目白	2本	3円	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	04	目白	1本	1円	1円		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	04	目白	3本	4円50銭	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	06	目白	1本	1円50銭	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	06	目白	1本	1円50銭	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	06	目白	5本	6円	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	12	目白	1本	1円50銭	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	12	目白	1本	1円20銭	1円20銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	18	目白	2本	3円	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	18	目白	1本	1円50銭	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	19	目白	8本	9円60銭	1円20銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	19	目白	1本	1円50銭	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	24	目白	10本	12円	1円20銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	24	目白	1本	1円70銭	1円70銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	24	目白	2本	3円	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	24	小目白	1本	1円	1円		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	24	目白	3本	4円50銭	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	24	目白	2本	3円	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	03	24	目白	1本	1円50銭	1円50銭		9-2	メジロ（ブリ）
大正15	1926	05	11	目白	2本	3円20銭	1円60銭		9-3	メジロ（ブリ）
大正15	1926	05	11	目白	1本	1円60銭	1円60銭		9-3	メジロ（ブリ）
大正15	1926	05	11	目白	10本	13円30銭	1円33銭		9-3	メジロ（ブリ）
大正15	1926	05	11	目白	1本	1円60銭	1円60銭		9-3	メジロ（ブリ）
大正15	1926	05	11	活目白	348本半	522円65銭	約1円50銭		9-3	メジロ（ブリ）
大正15	1926	05	11	活ケ目白	305本	457円47銭	約1円50銭		9-3	メジロ（ブリ）
大正15	1926	05	11	活ケ目白	54本	100円17銭	約1円86銭		9-3	メジロ（ブリ）
大正15	1926	05	11	活ケ目白	389本	583円23円	約1円50銭		9-3	メジロ（ブリ）
大正15	1926	05	11	活ケ目白	174本	261円78銭	約1円50銭		9-3	メジロ（ブリ）

付表　5／5

和暦	西暦	月	日	魚名	数量	金額	単価（本・尾）	単価（目）	目録番号	分類
大正15	1926	10	25	鮈	1494本	1205円4銭	約81銭		6 - 4	ハマチ（ブリ）
大正15	1926	10	27	まち	１本	85銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
大正15	1926	10	27	生ケ鮈	1494本	1205円4銭	約81銭		9-3	ハマチ（ブリ）
大正15	1926	10	27	生まち	２本	1円70銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
大正15	1926	10	27	生まち	１本	85銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
大正15	1926	10	27	生まち	３本	2円55銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
大正15	1926	10	27	生まち	１本	85銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
大正15	1926	10	27	生まち	１本	85銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
大正15	1926	10	27	生まち	１本	85銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
大正15	1926	12	24	鰍	200目	70銭		35銭	9-3	イナダ（ブリ）
昭和02	1927	01	05	鮈	39本	31円98銭	82銭		6 -25	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	01	05	鮈	１本	85銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	01	05	町	39本	31円98銭	82銭		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	01	09	まち	１本	85銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	01	09	町	４本	3円40銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	01	09	町	２本	1円70銭	85銭		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	01	09	鮈	107本	84円8銭	約79銭		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	02	19	鮈	１本	1円	１円		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	03	18	町	75尾	122円54銭	約１円63銭		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	03	18	生町	75尾	127円89銭	約1円70銭		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	03	18	町	40本	52円	１円30銭		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	03	18	鮈	１本	1円30銭	１円30銭		9-3	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	04	11	鮈	20本	12円	60銭		6 -52	ハマチ（ブリ）
昭和02	1927	04	11	目白	２本	3円	１円50銭		6 -52	メジロ（ブリ）
昭和02	1927	04	17	目白	741本	1074円78銭	約１円45銭		6 -52	メジロ（ブリ）
昭和02	1927	05	06	目白	１本	1円50銭	１円50銭		6 -55	メジロ（ブリ）
昭和02	1927	05	01	ぶり	11本	13円20銭	１円20銭		6 -59	ブリ